

Justware 統合開発 プラットフォーム

アプリケーション開発をサポートする各種ツールに加えて、プロジェクトの管理や進捗をサポートする昨日を組み合わせた開発環境です。デジタル技術の活用で、テレワークを中心としたリモート開発においてもアプリケーション開発の効率化や品質向上を支援します。

デジタル技術を活用し、お客さまのニーズに合わせて
最適なアプリケーション開発環境を実現します

Justware 統合開発プラットフォームは5つの機能群で構成されています

1 リモート開発支援

チーム内のチャット履歴や開発者のPC操作記録を収集・分析してダッシュボードで可視化するなど、リモート開発でのコミュニケーション状況や作業状況の把握を支援する機能群。

2 プロジェクト 管理支援

進捗状況や品質状況などのプロジェクト管理情報を、ダッシュボードで可視化することで、管理者の作業負担を軽減する機能群。

3 開発者支援

チャットボットをベースとしたインターフェースで各種ツールと連携し、開発作業の自動化などにより、開発者の作業負担を軽減する機能群。

4 アプリケーション フレームワーク

データ項目辞書のリポジトリ管理やソースコードの自動生成、標準ライブラリの提供などで大規模アプリケーション開発を支援するフレームワーク。

5 標準開発ツール

ライブラリ管理ツールやチケット管理ツールなど、OSS を中心としたアプリケーション開発を支援するツール群。

プロジェクトメンバーの作業負担を軽減し、
プロジェクト全体を効率化

特長



お客さまに最適な開発環境

Justware 統合開発プラットフォームで提供する各機能は、単体でも提供が可能です。また各機能は、他のOSSや製品に差し替えることも可能です。お客さまのニーズに合わせた適切な環境を提供します。



リモート開発でもチームワークを高める開発環境

リモート開発においても、チャット履歴やPC操作記録などを多角的に分析することで、メンバーやチームのモチベーション変化への気づきを得ることができ、チームワーク強化に向けた早期の対策を可能とします。



チャットボットで作業負荷軽減

チャットをベースとしてプロジェクトメンバーのコミュニケーションを活性化します。また、ボットを活用することで、各種ツールとの連携や自動化で開発者の作業負荷を軽減します。各種作業の自動化は、お客さまのニーズに合わせて、カスタマイズすることも可能です。



プロジェクト情報の見える化と共有

プロジェクト情報を自動収集し、進捗状況や品質状況などをグラフィカルに表示し、リアルタイムに確認できます。数値の集計や集約などの手間を省き、管理者の作業負荷を軽減します。

活用イメージ

■システム改修時の影響範囲を調査

チャットベースでの対話型インターフェイスで、探したい情報をボットが迅速に回答します。

さまざまな場所に格納されている膨大なプロジェクト情報(例：設計書、ソースコード、Wiki)から、横断的に検索することができます。

システム改修時の影響調査をサポートし、開発者の作業負荷を軽減します。



■ダッシュボードで進捗状況を共有

開発環境に格納されている各種情報を自動収集し、ダッシュボード上に進捗状況をグラフィカルに表示します。進捗状況は、プロジェクト全体のほか、チーム単位、開発機能単位などに自動集約が可能なため、立場・役割に合わせて、さまざまな切り口で確認することができます。収集や集計などのプロジェクト管理作業の負荷を軽減します。



●サービスの仕様は、改良のため予告なく変更することがあります。

株式会社 日立製作所
アプリケーションサービス事業部

お問い合わせは下記へ

■日立エンタープライズ アプリケーションサービス情報サイト
<https://www.hitachi.co.jp/appsdiv/>

